

## 夢づくり協働推進事業の実施状況 15

### 事業名

備中流耕作放棄地再生モデル事業 —都市との交流による耕作放棄地の解消—

### 事業の概要

過疎化、高齢化が進み、地域の活力が減退が著しい中山間地域では、耕作放棄地が拡大してきている。耕作放棄地の拡大は、鳥獣害の増加など地域の営農に支障を来すだけでなく、農地のもつ洪水防止や水資源涵養、土砂流出防止等の多様な公益的機能が損なわれるため、その解消・活用が喫緊の課題である。

そこで、都市農山漁村交流や農村景観の保全等に関心を持つ都市住民と地域住民、大学、県民局等が協働し、耕作放棄地の解消方策や耕作放棄地を活用した地域の活性化方策を検討するとともに、都市住民との交流の実践により耕作放棄地の解消、中山間地域の活性化を図った。

### 協働の主体、役割分担

協働の主体	役割分担内容
星の郷青空市（株）	モニターツアー受入、体験メニューの実施等
株式会社高瀬振興	同上
山ノ上干柿生産組合	農作業応援の受入、作業指導、交流会の開催等
岡山大学農学部	調査研究の実施、農作業応援
井原市（美星支所）	各協働主体との連絡調整等
新見市（神郷支局）	同上
矢掛町	同上
備中県民局	事業内容の企画、参加者募集、各協働主体との連絡調整等

### 実施状況

#### 1 耕作放棄地を活用したグリーン・ツーリズムモニターツアーの実施

都市住民18名と地元住民、関係機関との協働により、耕作放棄地を再生して栽培したそばの収穫体験やそば打ち体験を実践するとともに交流を深めるモニターツアーを実施した。

##### (1) 実施期日及び実施内容

###### ① 11月8日（日）

- ・耕作放棄地を再生して栽培したそばの収穫体験

- ・コンニャクづくり体験

② 12月20日（日）

- ・①で収穫体験したそばを用いたそば打ち体験
- ・もちつき交流会

(2) 実施場所 井原市美星町



再生作業（トラクターで耕起）



そば収穫体験

## 2 都市住民等との協働による耕作放棄地の解消

都市住民12名と地域住民、市、県民局等が協働して、耕作放棄地の解消活動を実践するとともに交流を深めるモニターツアーを実施した。

(1) 実施期日 10月24日（土）～25日（日）〈1泊2日〉

(2) 実施場所 新見市神郷高瀬

(3) 実施内容

- ・耕作放棄地再生作業体験（耕作放棄地での草刈り、ウメ植栽）
- ・野菜収穫体験（トマト、ハクサイ等の収穫）
- ・キムチづくり体験
- ・ご汁づくり体験（高瀬地区の伝統的なご汁づくり）
- ・餅つき体験（高瀬地区で収穫されたもち米を使用）



耕作放棄地再生作業体験



キムチづくり体験

### 3 大学との協働による耕作放棄地解消方策の検討・実証

岡山大学への委託により、耕作放棄地の解消及び中山間地域等の活性化に資する目的で、集落内に存在する地域資源を活用した耕作放棄地の解消方策や耕作放棄地を生かした地域の活性化方策を調査研究している。

同時に、地域の基幹品目であるほし柿づくりを岡山大学生等7名が支援することを通じて、大学生等と地域住民とが交流を深め、地域の活力向上を図り、耕作放棄地の解消を図るモデルとした。

#### 3-1 耕作放棄地の解消方策調査研究の委託

- (1) 委託先 岡山大学（農学部）
- (2) 実施期間 平成21年11月2日から平成22年3月31日まで
- (3) 調査対象地域 小田郡矢掛町小田山ノ上
- (4) 内容
  - ・集落の現状把握及び将来予測（集落内の労働力の計測、農地マップの作成等）
  - ・地域内に存在する資源の整理（「干し柿」に関する資源、耕作放棄地等）
  - ・地域資源の評価（地域外の住民から見た評価）
  - ・地域資源の活用方策の立案
  - ・地域の活性化方策の提案

#### 3-2 大学生によるほし柿づくり支援

- (1) 実施期日 平成21年11月14日（土）
- (2) 参加者 22名（岡大学生6名、准教授1名、地域住民15名）
- (3) 実施場所 矢掛町小田山ノ上
- (4) 実施内容
  - ・苗木植え付け応援（耕作放棄地を再生した畑に柿の苗木を植え付け）
  - ・柿の収穫応援（ほし柿に加工する柿（西条柿）の収穫を応援）
  - ・柿の皮むき応援（収穫した柿の皮むき）
  - ・昼食交流会（山ノ上の住民と大学生とが昼食をとりながら交流）
  - ・地区内散策（散策により地区への理解を深めた）



苗木植え付け応援



柿の皮むき応援

#### 4 都市住民への情報発信や地元住民の取組み促進による耕作放棄地対策の推進

中山間地域の住民等との協働により、県南の都市住民約 20 名を対象にしたグリーンツーリズムを実施することにより、地域の取組みを促すとともに、都市住民に耕作放棄地の現状と対策の必要性を認識してもらい、耕作放棄地対策の推進につなげる。

- (1) 実施期日 平成 22 年 3 月 20 日 (土)
- (2) 実施場所 新見市
- (3) 実施内容
  - ・耕作放棄地の現状とそれにより生じる問題の説明
  - ・地元住民との交流、農業体験等

#### 5 耕作放棄地解消方策調査

耕作放棄地の状況は地域によって様々であり、その状況に応じたきめ細かい取組が求められている。

そこで、状況の異なる 2 地域について、それぞれ耕作放棄地の解消方策や集落（地域）の活性化方策等を、地域住民や関係機関等との協働により調査・検討し、今後の耕作放棄地対策のモデルとする。

- (1) 委託先 岡山県土地改良事業団体連合会
- (2) 実施期間 平成 22 年 2 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで
- (3) 調査対象地域 総社市高間及び高梁市備中町布賀中・布賀東
- (4) 内容
  - ・地区の現状把握及び地区内資源に関する調査
  - ・上記調査を基にした地区の将来見込み
  - ・上記を踏まえた上での地域の耕作放棄地解消方策及び集落活性化方策の提案

### 成果・効果

- 1 都市住民や学生に、耕作放棄地の現状や問題点をある程度認識してもらうことができた。
- 2 都市住民や学生との交流活動を通じて、地域の活性化を図ろうとする意識が地域住民に芽生えつつあり、活動を継続することによって、耕作放棄地の発生防止や解消、中山間地域の活性化が徐々に進むものと期待される。また、活動の継続により、都市との交流による耕作放棄地再生のモデルとして、他地域への波及効果も期待できる。
- 3 農業体験（そば収穫体験、こんにゃくづくり体験、そば打ち体験、野菜収穫体験、キムチづくり体験、もちつき体験等）を通じて都市住民等が農業に親しむことにより、地元農産物の見直しにつながった。